



第4回東南アジア農業事情視察

2018年1月28日(日)～2月4日(日)8日間

訪問国(都市): タイ(バンコク)・ベトナム(ホーチミン)



▲バンコク イメージ



▲ホーチミン イメージ

**主催: 全国農業会議所 / 全国農業新聞
旅行企画・実施: ベストワールド株式会社**
観光庁長官登録旅行業第145号・日本旅行業協会正会員
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
電話 03-3295-4111 FAX 03-3295-4118

第4回東南アジア農業事情視察団への参加のご案内

全国農業会議所・全国農業新聞では第四回東南アジア農業事情視察団を派遣します。

今回は東南アジアでも随一の農業大国であるタイとベトナムを視察致します。

タイは経済新興国としての存在感が定着してきたとはいえ、国民の4割は農業に従事しており、ここ10年、農業の付加価値はGDPの成長と共に上昇を続けています。農産物加工品の輸出を伸ばす一方、灌漑システム等のインフラの未整備は課題となっていますが、ICTの利用により生産性を高めている先進的な農家も出てきています。

ベトナムは南部のメコンデルタを中心としたコメの生産が国の経済を大きく支えており、近年日本の指導のもと日本への輸出用の高品質なコメの栽培にも着手しております。

実際に農場等視察を行い、東南アジアの農業事情を具に学べる非常に有意義な機会となっております。

読者や農業委員会関係者をはじめとする皆様方には是非この機会に視察団へのご参加をご案内致します。何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。

タイの農業事情

＝気候に左右されない生産システムの構築＝

タイのコメ農家は競争力が高く、その輸出は国際的に高い成功を収めている。コメは同国の最重要な農産物であり、タイは、世界のコメ市場における主要な輸出国のひとつに数えられている。また、タピオカ、天然ゴム、穀物、砂糖などが比較的多く生産されている。

水稻の栽培技術の進歩や新品種開発にも力を入れており、ここ10年くらいの間に、農作業の機械化・外部委託や90日程度で収穫できる非感光性の早生種の導入とも相まって、2年5期作など農地の集約的利用が浸透した。

また2011年末の洪水でタイ王国は大きな打撃を受けた。およそ400万の米農場に大きな被害があり、家畜の被害は11万500頭にも及んだことから、現在では官民一体となり、再発防止に取り組んでいる。



ベトナムの農業事情

＝いかに付加価値をかけるかという今後の課題＝

ベトナムはあまり知られていないが2015年のベトナムのコメ輸出量は800万トン。これは、タイを抜いて堂々世界第2位である(1位はインド)。コーヒーの大輸出国でもあり、ブラジルに次いで世界第2位の輸出量を誇る。それ以外でも、キャッサバが世界第1位、天然ゴムが3位など、多数の農作物が世界有数の生産量だ。一方で、輸出する農作物の付加価値が非常に低いため、売っても売っても、たいして利益にならないという課題がある。また、稼いだ利益のごく一部しか農民に還元されず、残りは中間業者や輸出業者が儲けるという歪な利益配分という課題もある。

ベトナムではこうした問題もあり、日本や中国へ向けた高品質なコメの栽培に力を入れており農業改革に取り組んでいる。

バンコク三大寺院とは

バンコクにおいて最も格式の高い3つの寺院「ワットプラケオ」「ワットアルン」「ワットポー」のことを指す。三大寺院には、それぞれ普通の寺院とは大きく異なる見所がある。ワットプラケオの本堂には、タイで最も重要とされる仏像「エメラルド仏」、ワットアルンには輝く巨大な仏塔、ワットポーには巨大な寝仏。これら三大寺院は、バンコク観光の決定版であり、最大のハイライトと言っても過言ではない。

ベトナムに息づくフランス文化「サイゴン大聖堂」

ホーチミンは、「東洋のパリ」ともいわれる街で、ヨーロッパ風の建築がたくさん残っている。かつて、ホーチミンはサイゴンと呼ばれており、17世紀から19世紀まではフランスの植民地だった。当時の面影を残す建物の中でも、とても美しく観光客の目を引いてやまないのがサイゴン大教会。サイゴン大教会の建物は、1880年に建てられたカトリックの教会で、当時のヨーロッパで流行していたネオ・ゴシックの建築様式だ。厳かでありながらも洗練された建築物に、観光で訪れたら人は眼を奪われる。

第4回東南アジア農業事情視察団 日程表

月日	発着地	時刻	交通機関	摘要	食
2018年 1月28日 (日)	東京(成田)集合	18:00	各自	成田空港近郊ホテルに集合。 結団式の後ホテルにて宿泊。 【成田空港近郊ホテル】	夕
1月29日 (月)	東京(成田)発 ハノイ着 ハノイ発 バンコク着	10:00 14:00 15:35 17:35	VN311 VN613	成田空港に集合。 空路、ベトナム航空にて一路ハノイを經由し、 バンコクへ。 着後専用車にて市内ホテルへ移動。【バンコク泊】	朝 機 夕
1月30日 (火)	バンコク近郊	午前 午後		<p>●ラムルッカ農協と精米所訪問(予定) 1974年に創設されたタイでも歴史のある農協団体。 OTOP(タイー村一品運動)や精米所等のビジネスを行い、タイの稲作を中心とした農業の経営に関して指導を行う。</p> <p>●ハーモニーライフ オーガニックファーム訪問 農薬や化学肥料を利用しない無農薬有機栽培を行う。栽培品目は季節により異なるが、トマト、人参、大根、オクラ、カボチャ、レタス、ほうれん草、茄子、空芯菜等 【バンコク泊】</p>	朝 昼 夕
1月31日 (水)	バンコク滞在	午前		<p>●カセサート大学カンペンセン校訪問 タイを代表する農業総合系大学であり、タイで最初の農業大学。 農学、園芸学、畜産、土壌科学、農業機械学等の学部を擁する。 学生数はおよそ2000人 浮稲栽培地帯の見学を始め農学科教授の品質管理等のレクチャーを予定。</p> <p>■バンコク市内公共文化施設視察 急速に近代化が進んでいますが、昔ながらの変わらぬ風景も残っており、市場や屋台は人々の活気で満ち溢れています。装飾豊かな歴史のある寺院の数々は神秘的な雰囲気漂っています。 ワットポー/ワットプラケオ/ワットアルン等三大寺院などを視察 ※時間の都合により変更になる場合があります。【バンコク泊】</p>	朝 昼 夕
					
2月1日 (木)	バンコク発 ホーチミン着	11:20 12:55	VN600	専用車にて空港へ移動。 空路にてベトナム南部最大の都市ホーチミンへ。 着後、専用車にてホテルへ。【ホーチミン泊】	朝 昼 夕
2月2日 (金)	ホーチミン近郊	午前 午後		<p>●メコンデルタエリアにてコメ農家視察 メコンデルタエリアでは稲作や海老の養殖が盛んに行われている地域であり、近年ホーチミン近郊の農業に於いて非常に重要な役割を担っている。その中でも成長著しいコメ農家を視察致します。</p> <p>■ミー市内公共文化施設視察 ミーはホーチミンから車で約 2 時間の場所にあるメコンデルタの入り口の港町。肥沃なメコンデルタは、人々に米や果物の恵みをもたらし、自然の恵みをたっぷり受けた南国フルーツは、この地方の名物にもなっている。永長寺やメコンデルタクルーズ等。 視察後、ホーチミンへ。【ホーチミン泊】</p>	朝 昼 夕
2月3日 (土)	ホーチミン滞在	午前		<p>●ホーチミン郊外葱農家視察(予定) ベトナムで栽培している葱は、葉先が枯れにくく、品質的にも値段的にも中国産より勝っているとされている。品質管理や出荷までの一連の流れを視察。</p> <p>■ホーチミン市内文化施設視察 ベトナム最大の商業都市。1859 年から始まるフランス統治時代に建てられた劇場や郵便局など、フレンチ・コロニアル風の建物が町を彩ります。 その後空港へ移動。【機内泊】</p>	朝 昼 夕
					
2月4日 (日)	ホーチミン発 東京(成田)着	00:50 07:45	VN300	空路直行便にて東京(成田)へ。 着後、帰国手続きを行い、解散。	機

※この日程は2017年9月に作成しています。スケジュール・時刻等変更になる場合があります。

※訪問先は現時点での予定となっております。訪問先の都合により変更になる場合があります。

実施要項

ツアー名:第4回 東南アジア農業事情視察団

●旅行経費 ￥208,000.-

●募集人員 25名様以上

※20名様未満の場合費用が変更になります。

●旅行費用に含まれるもの

- ①交通費:往復航空運賃(エコノミークラス)
- ②宿泊ホテル料金
(1室2名様バス又はシャワー付き)
- ③食事:全食付き
- ④旅程に記載の移動に要するバス等の交通機関
- ⑤空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金
(原則としてお一人様旅行用鞆1個23kgまで)
- ⑥添乗員費用:1名同行致します。

●旅行費用に含まれないもの

- ①燃油特別付加運賃及び空港税(¥11,700)
※平成29年度9月時点での料金にてご算出しております。料金は2ヶ月に1度変動があります。最終的な料金は御請求書にてご連絡申し上げます。
 - ②成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,610)
 - ③食事の際のお飲物代
 - ④お一人様部屋追加料金(¥52,000)
 - ⑤旅行傷害保険料(※必ずご加入願います)
 - ⑥ビジネスクラス利用料金
- ※お申し込みを頂いた時点での空席状況により料金は変動致します。
- ⑦個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用
 - ⑧日程記載以外の交通費、食事費用等

●パスポートについて

- ※パスポートは運転免許証と同様に個人の所属となります。
※パスポートの有効期間は6ヶ月以上必要です。
※パスポートの有効期間が6ヶ月未満の場合、出国できません。
また、訪問国の入国を拒否されます。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請をお願いします。取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド(株)にお送り願います。取得までに約1週間から10日間かかります。

1. 戸籍抄本 1通(最近6ヶ月以内のもの)
2. 住民票 1通()
3. 写真 1枚(縦4.5cm×横3.5cm)

※査証用の写真については別途ご案内致します。

◆お問い合わせ・お申込み

視察企画:

全国農業会議所
全国農業新聞

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8

中央労働基準協会ビル2階

TEL:(03)6910-1130 FAX:(03)-3261-5132

【担当:荒井】

旅行手配・実施:

ベストワールド株式会社

(日本旅行業協会正会員・観光庁長官登録旅行業145号)

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4

TEL:(03)3295-4111 FAX:(03)3295-4118

【担当:尾山】

●旅行申込み方法

参加申込書を郵送またはFAXにて送付頂き、併せて申込金(¥60,000)を下記指定口座までお振込み頂きます。(旅行費用の内金となります。)

●残金の支払い

出発1ヶ月前までにお振込み方お願い致します。

●申込締切 2017年11月24日(金)

●振込先

銀行名:三菱東京UFJ銀行 神田支店
名義:ベストワールド株式会社
口座:当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。

- *30日前～3日前までの場合……………費用の20%
- *2日前～出発前日までの場合……………費用の50%
- *当日及び、出発後の取消の場合……………費用の100%

※航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上、取り消しの際にその実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は平成28年9月現在の特別航空運賃を基準にしております。出発前に大幅な為替変動などがあつた場合には、旅行費用が変更となる場合がありますので、ご諒承願います。

●当社の免責事項について

- *下記の項目は当社の責任を負いかねますのでご諒承下さい。
- ①天災事変、戦乱、暴動、ストライキまたはこれらの為に生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。例えば、台風によるフライトキャンセル等により旅行日程が短縮となった場合も、ご旅行代金の返金はございません。また、帰国予定便が延着になり、宿泊が追加となった時などの経費はお客様負担となりますので、予めご了承ください。
 - ②運送・宿泊機関等のサービス提供の中止またはこれらの為に生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
 - ③官公署の命令、外国の出入国規制または伝染病による隔離またはこれらによって生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
 - ④病気⑤盗難⑥運送機関遅延、不通、スケジュール変更、経路変更またはこれらによって生じる旅行日程の変更もしくは目的地滞在時間の短縮。
 - ⑦現金、貴重品、重要書類、撮影済みフィルム、その他壊れ物については、当社は賠償の責を負いません。
 - ⑧運送機関での手荷物の滅失、紛失または破損に対する損害に関しては、国際運送約款及び各航空会社の航空約款に準じます。

総合旅行業務取扱管理者 森 航二